

支部の活動・会員の活動・交流の場

支部HP <http://www.kenchiku-ichikawa-urayasu.com/>

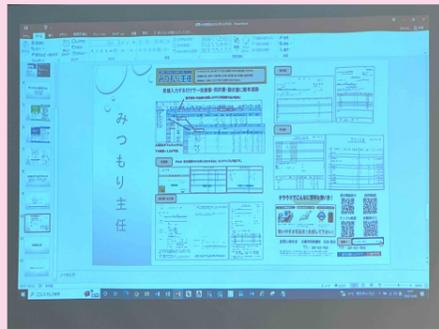
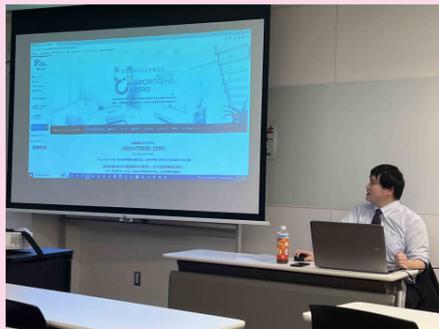
■会員勉強会報告■

※毎月支部会員が講師となり支部会員の為となる情報共有の場

○日時：令和4年12月9日（金）20：00～21：00 ○会場：全日警ホール 第2会議室

「建築士が使うソフトならこれ！」 恩田 純二氏

3歳からスイミングを習い、数学と理科が得意だったけど文系を受験（基準は女の子）。水泳コーチと塾講師を経験し、教え子の成長をみたいという動機から日建学院に。日建学院の良いところは資格を取った先に活躍出来ることがあるところや先を見据えて働けるところ。そしてこれからの法改正を踏まえ、それに対応する建築士におすすめするCADソフト及び見積作成ソフト等を紹介下さいました。



○日時：令和5年5月12日（金）20：00～21：00 ○会場：全日警ホール 第2会議室

「測量→測量×鉄道？×3D？×動画？」 丹内 和典氏

鉄道の軌道管理を経て測量の仕事に。駅の整備に必要な測量が主な仕事。YouTube 動画作成を始めたきっかけは若手に測量を教える為に動画で説明する為に。そこから発展し地域の情報をYouTube 配信する「じもとの放送局」の制作も担当。最新の3D スキャナを使い点群データとして測量した建物がそのまま3Dにて再現出来ること、平面図及び断面図等CADデータへの展開方法についても紹介。



■会員交流番外編「オートキャンプ施設 shelterbase」キャンプ体験■

監査の堀川が施設の設計に携わらせていただき、準会員で行政書士の小浦泰之さんが開発申請を、施工を副支部長山中一郎さんの株式会社山中工務店さんが携わった「オートキャンプ施設 shelterbase」が鎌ヶ谷市軽井沢に令和5年2月1日オープンしました。それに先駆けて、お客様を実際に受け入れる前に、施設設備の使用確認として寒空の中キャンプ体験を副支部長の丸山洋さんと奥様、理事の井上健一郎さんをお願い、一緒に体験してもらいました。キャンプがとっても楽しかったので支部でも企画出来ればと思っています。（文責：堀川成良）



■「勉強会 BIM について」開催報告■

○日時：令和5年3月17日（金）19：00～20：30 ○会場：全日警ホール第1会議室 ○参加：会員16名

IT活用が進む中、建設業界で注目を集めているのがBIM（Building Information Modeling）と呼ばれているコンピューター上に現実と同じ建物の立体モデルを再現して、建物づくりに活用していく仕組み。BIMとCADの違い、BIMのメリット、デメリット、どのようなことが出来るか等、不明な点が多いとの意見から、この勉強会が企画されました。日本のBIMシェアのトップクラスのArchiCADを販売しているグラフィソフトジャパン(株)の小松様及びその代理店(株)エービーケーエスエスの紅林様に講師を務めていただきました。

BIMには興味があるが敷居が高い。そう思っている方は多いと思います。活用することが出来れば建築・建設業界が抱える問題も飛躍的に解決することが出来るツールであることは確かです。勉強会では講師の方がBIM活用の素晴らしさを教えてくださり、また受講者にもよく伝わったと思いました。しかし、現状では、個人の設計事務所や小規模の施工会社では資金面や技術面で、まだまだ導入することは難しいかもしれません。（文責：山中一郎）



■「耐震性能を見る化する微動探査」開催報告■

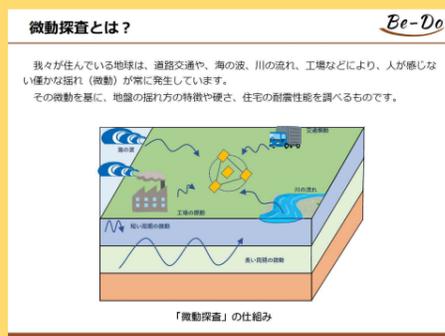
○日時：令和4年10月28日（金）19：00～ ○会場：全日警ホール 第1会議室

「微動探査」という新しい調査方法ご存知でしょうか？今回の勉強会では株式会社Be-Do代表取締役の戸成大地さんにお越しいただき、「微動探査」についてお話をいただきました。

「微動探査」とは、かすかな振動を計測することで、地盤と建物の揺れやすさを見る化できる調査です。昨年ISOにも承認された確固たる技術だそう。この微動探査の活用方法は主に5つ。

- ①新築時の耐震性能が計算通りにできているかの確認
- ②新築時に計測して、10年、20年後…に再計測することで耐震性能が劣化しているかがわかる
- ③新築時に計測して、大地震が起きた後に再計測することでそのまま住み続けることができるかわかる
- ④地盤が揺れやすいか・共振するかを測れる唯一の方法
- ⑤既存住宅の耐震診断と組み合わせることで、より詳細な診断をすることができる

気密測定の耐震版のようなものですね。耐震性能を実測できてお施主さんにそれを伝えられるのがわかりやすくして良いと感じました。私も非常に興味深く、早速自宅の測定をしてもらいました。測定は1時間ほどで完了しました。今後はこの最先端の技術を周りの建築士さんやお施主さんにも勧めていきたいです。（文責：早川浩平）



新任理事の御紹介



高橋 正人

この度、新しく理事となりました。高橋正人です。1級建築士の取得を機に令和2年に建築士会に入会しました。建築士会の一員となり4年目となります。建築士会の活動、主に勉強会などに積極的に参加し、自身の知識を高めるように努力してきました。これからは理事として建築士会の活動を盛り上げて行きたいと思っています。また、活動を通し、様々な経験をして自身の成長に繋げて行きたいです。先輩理事の皆様、これからもご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



飯塚 直亮

今期から理事を務めます飯塚です。市川市八幡で畳職人をしています。職人となつて20年程が経ちます。店は祖父が東京から移り創業してから80年余り。多くのお客様や仕事仲間を支えられてやってまいりました。建築士会には準会員として参加して5年ほどになります。この間、各種の行事や山登りを通じて新たな出会いにも恵まれました。建築士会では勉強会はもちろん、ちょっとした雑談や世間話が役に立つことも少なくありません。また、勉強会では講師を任せられ仕事の話をして頂く機会も得て貴重な経験となりました。ひとまず1期2年を楽しみながら努めてまいりたいと思います。